

令和2年10月15日  
愛媛大学

## 中四国初！愛媛大学医学部附属病院が 「肥満外科手術実施施設」に認定されました

高度肥満患者に対する手術はリスクが高いため、2016年に日本肥満症治療学会が定めた認定制度が求める、1) 安全な手術を施行できる技術力、2) チーム力、3) データ登録義務等が問われる厳しい基準が要求されます。本院では、2016年12月に肥満外科治療WGを発足し、外科、内科、麻酔科、精神科、病棟・手術部看護師、管理栄養士、事務からなる多職種がチームをつくり、2017年1月に第1例目の手術を施行しました。その後40例近い症例を経験するなど、同学会が定める厳しい認定基準を満たし、**2020年10月に「肥満外科手術実施施設」に認定されました。**

現在、保険診療で施行できる腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状胃切除術）を第1選択として施行します（別紙参照）が、今後スリーブバイパス術など、更に難易度の高い手術も導入する予定です。統合的肥満症治療の一環として、連携病院等と協力しつつ安全で有効な治療を提供してゆく所存です。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、是非、取材くださいますようお願いいたします。

※送付資料2枚（本紙を含む）

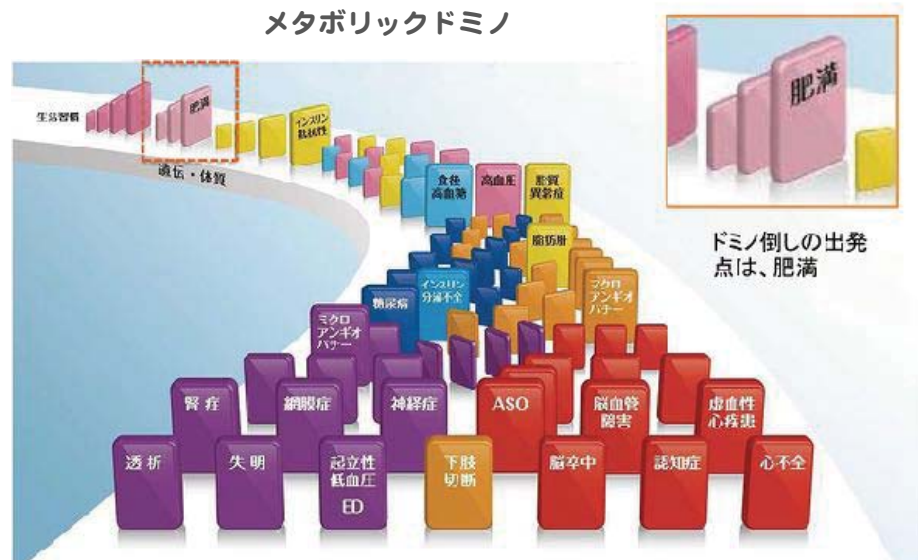
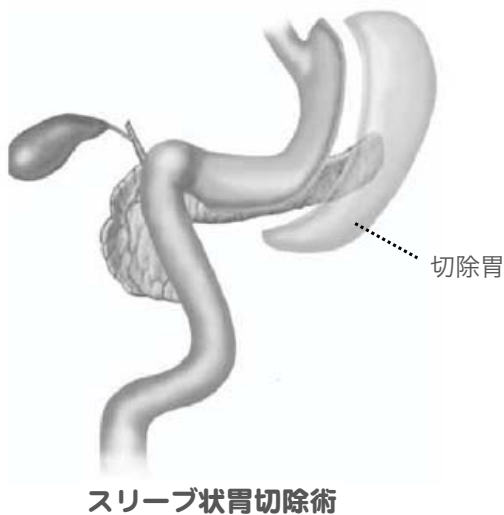
本件に関する問い合わせ先  
担当部署  
愛媛大学医学部附属病院  
消化器腫瘍外科 教授 渡部祐司  
TEL：089-960-5975  
内分泌代謝内科 教授 松浦文三  
TEL：089-960-5308

# 腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状胃切除術）について

肥満手術は現在では代謝手術と呼ばれ、肥満併存疾患（糖尿病、高血圧、脂質異常症、肝機能障害、睡眠時無呼吸症候群など）に対する外科治療を指します。当院では、保険診療で施行できる腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状胃切除術）を第1選択として施行します。

## 【手術の概要】

- ・本手術治療は、腹腔鏡を用いた小さい創で施行する手術です。
- ・BMI $\geq$ 35kg/m<sup>2</sup> で糖尿病、高脂血症、高血圧、睡眠時無呼吸症候群を持病に持っている患者は保険診療となります。
- ・手術前に6ヶ月以上の内科的治療が必要となります。
- ・手術効果は、過剰な体重（治療前体重-標準体重）が3年で50-60%減量可能です。その結果、糖尿病・高血圧・高脂血症・睡眠時無呼吸症候群など健康障害が改善します。
- ・変形性膝関節症など整形疾患の改善や、不妊症に対する治療効果も報告されています。



伊藤裕：日本臨床.61(10).1837-1843.2003